



☀️	青果卸売	猛暑・大雨(台風)の影響で、一部品目に品質・出荷量ともに影響があった。特に果実は売上・利益ともに苦戦を強いられた様子。
	生鮮魚介卸売	台風のため、お盆の前半は魚の入荷がかなり少なく、大変だった。後半はカツオが入荷してくれたので、持ち直した。やはり高知はカツオが必要。新型コロナウイルスの影響について、資金繰りや返済計画への影響はこれからあると思われる。運賃の値上げで価格転嫁や製品出荷に影響がある。
	電気機械器具小売	全商品平均で前年比102.6%。エアコン前年比104.3%、特に省エネタイプ好調。テレビ前年比96%。冷蔵庫は前年比99%だった。
	旅館・ホテル	よさこい祭りや全国中学体育大会等イベントが実施され、業況は良かったが、人材不足により食事付プランの停止、販売客室数を最大化できない等、施設稼働を抑えざるを得ない施設も多い。宴会も徐々に状況は回復しつつあり、年末に向けても復調基調である。
	タクシー	実働1日1車当りの前年同月比運送収入:112.1%、輸送回数:108.8%、実働率は50.8%。現状は前月と全く同じで、顔を合わせるたびに運転者が欲しいと言っばかり。

☁️	食品団地	8月市況は、県内では観光客が増加傾向にあり、よさこい祭り等人出の多い期間が増え、昨年同様となった。収益面では、原材料費・エネルギー等のコストアップ対応が課題となっている。製品値上げに、コストアップベースの方が早く、十分な価格転嫁ができない状況である。
	酒類製造	やや増加となっているが、毎月微増の状態では回復まで厳しい状況である。日本酒のおいしい季節になり、各種イベントも開催するので、期待したい。新型コロナウイルスの影響として土佐の酒文化、皿鉢料理、返杯、献杯等の自粛がある。エネルギー、原材料価格の高騰について、主に電気料金・運送費の高騰の影響が大きい。
	テントシート	昨年度より帆布製品の大規模な値上げが、やっと販売価格に転嫁出来そうな感がある中で、小幅ではあるが、帆布製品、副資材等の相次ぐ高騰で非常に厳しい状況が長引きそうである。イベント関連事業は回復基調にあるが、販売事業は厳しい状況が続くと思われる。価格転嫁についても大変厳しい状況が続くと思われる。
	木製品素材生産	8月はお盆休みや台風の襲来もあり入荷量は減少しているが、今後回復してくる見込み。また、虫害による影響(品質)はお盆明けより徐々に出てきている状況。丸太価格については、樹種により違いがあり、特にスギについては底値といった感じで動きも悪い。ヒノキはほぼ横ばい状態であるが、品薄感もあり依然として需要はある。電気料の高騰により厳しくなってきている。
	製紙(家庭紙)	販売金額は、ティッシュペーパー及びトイレットペーパーが前年比で増加している。また販売量も、ティッシュペーパーだけは前年比で増加している。しかしながら、他の紙製品は販売金額及び販売量は昨年を割っており、全体として厳しい状況に変わりはない。原料価格(パルプ)は、昨年(2022年)と比較すると落ち着いてきたが、まだ高水準にあり、厳しい状況にあることに変わりない。
	製紙(手すき和紙)	原材料等高騰のあおりを受け続けている。収益状況が思うように伸びない状態が続いている。いつまで続くのか不安しかない。原材料等の高騰が止まらず、価格転換はするものの、収益には反映されていない状態が続いている。
	生コンクリート製造	8月度の全組合員の出荷量は、単月で対前年比72.0%、4月からの累計も91.1%で、前月より単月・累計ともに出荷量が減少傾向であった。この傾向は県下全体に亘って減少しており、今年の8月天候(雨天が多かった)の影響が考えられる。
コンクリート製品	前年度同月比80.9%。前月から少し落ち込みの状況。特に製品部門が低下している。セメント・鋼材等の原材料価格高騰の影響がある。	

☔️	刃物製造	当月は海外向きの商品が多く出荷され、売上も上がった。また、昨年は小売事業をコロナの関係で休業していたが、今年は営業し、大きく前年を上回っている。ただ、県内業者への販売は若干落ちてしまった。材料・光熱費の値上がりは、生産者にとって厳しい状況は続いている。
	船舶製造	溶接材料値上り要請あり。(10月仕入分より)
	珊瑚装飾品製造	8月度の取引額は前年同月比111%となった。新型コロナウイルスの影響で、基本的な感染対策を継続している。
	卸団地	外食・観光は、よさこいの通常開催など好条件が増えて期待値が高かったが、台風他の天候により伸び悩んだ。売上不振・原材料値上げで大変厳しくなっている。新型コロナウイルスの影響は、売上減、社内での感染者に対する対応等。価格転嫁について、十分な価格転嫁が出来ていない。ガソリン・電気代値上げ分は転嫁できていない。
	各種小売(土佐市)	4年ぶりに開催された花火大会と大綱祭りは、たくさんの人出で大盛況に終わった。人の動きは感じられたが、小売店への売上にはなかなか繋がらないのが現状。
	中古自動車小売	月前半までは、販売台数並びに客単価等前年に比べ変動はないが、後半から来場者数及び問い合わせ件数等が減少傾向。一方で、車検・整備・備品販売の件数が増加している。
	商店街(高知市)	中央公園地下駐車場 売上前年比:120.6%、利用台数前年比:111.0%。よさこい祭りの通常開催・外国客船の入港及び好天候もあって昼夜ともに人出は昨年よりはるかに多かったように思われる。
	商店街(四万十市)	お盆前後には帰省客が多く、スーパーやコンビニは常にレジ前に列ができていた。宿泊業も何とか回転している。
	飲食店	8月上旬は県中心部の集客が好調だった。人の動きは活発だが業界の集客にそのまま反映はしていない。前年同月比から売上は1~2割増えているが、光熱費や仕入れ価格が高騰しているため収益は悪化。コロナ禍以前との売上比較は8~9割。良くも悪くも集客にメリハリがなく、売上高の回復は頭打ちの感がある。新型コロナウイルスの影響で売上が低下している。電気・ガス等のエネルギー、大手メーカーの原材料等の大幅な値上げに対し、顧客離れや売上の低下等の懸念から業界の価格転嫁力は低い。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比147%、全旅クーポンを加味して150%(令和元年度同月総売上対比96%)。組合クーポン利用率の減少を食い止めることが出来ていない。
IT事業	昨年度と比較して前年より売上が減少しているが、昨年度が例年に比べてやや多かったためではないかと思われる。今年度は例年のレベルに戻った感じで、今後、年末に向け投資機運が高まることに期待したい。	
電気工事	組合員の施工する電力引込線工事は、前年同月比93%となった。高知中央・須崎地区が増加したものの、香長地区が減少した。	

☔️	製材	加工数量等は減少傾向にあり、こうした状況はしばらく継続するとの見解が多い。
	建具	組合員の高齢化が進み、後継者がいなくて廃業する人が増えている。材料代・運賃が値上がりした分、製品代に転嫁できていない。
	印刷	久しぶりに売上増加、設備操業度上昇となった。8月は県外需要で明るさも見られ、県内需要も一部は好調な企業もある。ただし原材料の高騰が販売価格に十分に反映できてなく厳しい経営状況は継続している。
	機械団地	海外経済の影響により受注が減ったとする事業所がある。業種業態の違いによっても収益等にバラツキがあるが、団地内の業況に特に変化はみられない。
	ガソリンスタンド	政府の補助金は9月末での終了が延長されるとの発表があった。詳しい発表はないが、補助金の計算式の変更がある。段階的に補助額の増額があるよう若干のガソリン価格の変動が予想される。新型コロナウイルスの影響で、販売数量は元には戻っていない。今後、EVに移行するが先か合資燃料が先か注視。原油価格の高騰・円安の影響がある。
	商店街(安芸市)	8月19日(土)に高い甲子園大会を開催。今年は12校18チームがエントリーした。県外からは愛媛・岡山・広島・三重からの参加があり、4年ぶりに商店街に高校生の熱気があふれた。優勝は愛媛県立南宇和高等学校「地域振興研究部」で、3大会連続優勝となった。価格転嫁を行ったところや検討中の店舗もあるが、値上げによる購買数の減少など影響があり得る。
	クリーニング	物価高・節約志向の影響が、需要の減少傾向がみられる。組合員で新型コロナウイルス感染者が複数発生、営業に影響を与えた。エネルギー価格・原材料などの高騰は続き、その分価格転嫁はできていない。
	一般土木建築工事	令和5年8月分の公共土木生コン出荷量は、前月比77.2%、前年同月比72.0%。8月の工事請負金額は前年同月比で72.6%。令和5年8月末時点の前年対比請負金額は、国:93.0%、高知県:96.9%、市町村:90.5%となっており、工事請負金額・生コン出荷量ともに減少している。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事については継続している。生コンクリート販売単価については、今後も生産原価上昇が予想され、値上げ交渉が必要となることが予想され、共販率向上に向けた取組みを当組合としても行っていく。セメント・原材料・骨材・燃料費・人件費等高騰により生コン販売価格引き上げを昨年2度から2度にわたって実施し、m当たり4千円引き上げとなっている。高知市は初回値上げ分の3千円引き上げに止まっていたが、9月に入って、販売単価上昇分の50%に相当する1,000円/m積算単価上昇した。
	一般貨物自動車運送	燃料価格は先月比で7円以上の値上げとなり10月以降も補助金は継続されることとなったが来月以降も高値で推移することには変わりない。荷動きも鈍いまま組合員企業の経営は益々厳しい状態と言える。新型コロナウイルスの影響で、荷物が回復しきっていない。燃料高騰による運賃転嫁がなかなか進まない。